



新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備えましょう

●ワクチンを接種する

※市内での新型コロナワクチン接種は、一部の医療機関でのみ可能です。
希望される方は、早めの接種をお願いします。
※オミクロン株対応ワクチン接種は、1人1回のみです。

- 感染防止対策（手洗い、3密の回避など）を継続する
- 体調不良時は出勤や登校をせず、飲み会などには参加しない
- 家庭内でもこまめに換気をする
- 体調不良時に備え、食料品、日用品、市販の解熱鎮痛剤、抗原検査キット（国が承認したもの）などを購入しておく

※この内容は、1月23日(月)時点の情報です。今後変更になる場合があります。

オミクロン株
対応ワクチン
接種▶



相談・受診方法 受診前に電話で相談を

症状あり	県新型コロナ受診・相談センター TEL025-385-7634 TEL025-385-7541 TEL025-256-8275 県抗原定性検査キット配布 コールセンター TEL025-280-5967 (9:00～17:00、祝日を除く月～金曜)
	毎日 24時間対応
症状なし	県新型コロナウイルス 感染症コールセンター TEL025-282-1754 (8:30～17:00、祝日を除く月～金曜)



地域の歴史を守り育てる

松波 諏訪神社

松波地区



松波の諏訪神社は、享保5（1720）年に創立。天明年間の風雨や明治年間の大火など、幾多の困難を乗り越えました。また、中越沖地震で社殿が大規模損壊しましたが、見事に復興・再建を遂げています。

歴代の厄払いの会から奉納された龍の彫刻のある鳥居や、迫力あるライオン像は、全国的にも珍しく神社境内の景色をさらに由緒あるものとしています。

現在は、神社役員を中心に春・秋の祭りや境内の清掃が行われ、大切に守られています。松波諏訪神社の品田博一総代は「今後も人とのつながりを大切にし、松波のお宮が祈りと祭りと人の縁をつなぐ場となるべく精進・奉仕したい。次の世代に確実に受け継いでいきたい」と話してくれました。

今月は「歴史」をテーマにお届けします。

閩市民活動支援課

TEL21-2272 FAX22-5904

宮川神社

高浜地区



宮川神社は、延暦元（782）年に爾来神明宮として創立、明治23（1890）年3月に現在の宮川神社に改称されました。文治年間には源義経が奥州平泉（岩手県平泉町）へ下向途中に立ち寄り、武連長久を祈願し本殿、花表、御橋などを寄進したと伝えられています。

宮川神社の社叢は、昭和55（1980）年に国指定天然記念物に、平成26（2014）年には、国登録有形文化財にも指定されました。

現在は、約30人の「社叢を守る会」を中心に、春・秋の祭りや環境整備が行われています。また、神社役員を中心に春・秋の祭りが行われ、昨年の秋祭りは3年ぶりに町内を回る神幸式が行われました。

役員の皆さんは「人口減少や少子高齢化が進む中、由緒ある宮川神社を守っていくことを次の世代に確実に伝えていきたい」と話してくれました。

最終回

次号のテーマは「花」です。お楽しみに。/



市HP



公式SNS

発行／柏崎市編集／元気発信課
TEL 025-851111（代表）
FAX 025-7247714（代表）